Popoki



Newsletter No.180 2020.8.25

ronniandpopoki(at)gmail.com http://popoki.cruisejapan.com



8月!ポーポキが住む神戸の暑い夏はあともう少し。体力や免疫のために、ポーポキはしっかり食べて、水分をとるようにしています。 それにはスイカが欠かせない!みなさんもどうぞ!冷えてますよ!



Popoki's Hot News!



Coming up!

「ポーポキと一緒に考える平和と健康」 オンライン・ワークショップ 10月24日 14:00~

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのユーニスにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。 「平和は、願望や希望に満ちていて、笑顔に囲まれながらすべてのユーモアの感覚を楽しむこと。」



あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか?ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール ronniandpopoki (at) gmail.com!

第 10 回目 「核を考える話し 合い」



ろにゃん

日本時間8月6日の午前中に第10回目の「核を考える」話し合いを開催した。今年もア メリカ・グアム・日本の3か所をつないだ。参加者は、アメリカからはRemembering Hiroshima, Imagining Peace (RHIP) のメンバー、グアムからはティアラ・ナプティ(コ ロラド大学准教授)とモナエカ・フロレス(Pruheti Litekyan/Save Ritidian)、神戸から はポーポキの友だちや神戸大学の大学院生(インドネシア、オーストリア、韓国、ギニア、 台湾、中国、日本、マレーシア、メキシコ、アメリカ出身)を合わせて30名。例年だとRHIP の人は核関連の映画を観てからそのまま映画館で参加することになるけれど、今年は各自が Zoom で参加したためにお互いに話し合うことが以前よりできたと思う。また、映画は核兵 器禁止条約を題材にする "The beginning of the end of nuclear weapons"で、参加者の多く は事前にオンラインで観た。それを受けて、話し合いの最初にすべての参加者は自己紹介と 共に、同条約に対して自国の立場を簡単に説明した。おかげで、核問題も世界もとても身近 に感じることができた。また、核戦争は5年以内に起こる可能性について聞いたら、ほとん どの参加者は「起こる」と思ったり「不安」だと言ったりした。その後は、核を根拠にしな い安全保障の可能性、核による脅威、アメリカの「槍の先」とされている(アメリカの植民 地の) グアムの現状などについて話し合った。もちろん、パンデミックと安全保障のことや 福島第一原発事故のその後のことも。そしてみんなにできることを話し合っていたら、あっ という間に終わった。普段、あまり聞かない話を現地の人から聞いたりできてとても面白く て刺激的でした。みなさん、ありがとうございました!

来年もお会いできることを楽しみにしています。

(写真:らくにゃん)



* 新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、Emmanual Haruna にゃんからのレポートです!

コビー・アズ氏インタビュー「COVID-19 私が日本で経験したこと」



あなた自身について教えてください。

私の名前はコビー・アズ、私はガーナ出身です。ガーナ中央銀行で仕事をしています。神戸大学の修士課程で開発政策を学ぶため日本開発奨学金(JDS)で来日しました。

日本に来てどのくらいになりますか。

私は2018年8月に日本へ来ました。来月、日本での2年間を終える予定です。

日本での COVID-19 の経験について簡単に教えてください。

とても興味深い経験をしたと思っています。今年の 2 月の初めに、私はアメリカでの国際会議に出席するために日本を離れました。幸いなことに、世界保健機関(WHO)が COVID-19 によるパンデミックを宣言する前に日本へ帰国することができました。私がアメリカから帰国してから数週間後、気分が悪くなり、自分がコロナウイルスに感染したのではないかととても怖くなりました。検査のために病院に行きましたが、レントゲンを撮った結果、私の病状はコロナウイルス感染とは関係がないものだと診断されました。それから病院でもらった漢方薬を飲み、再び元気になりました。私は COVID-19 に感染しているとは思っていませんでしたが、倦怠感があったことからとても怖かったのです。

日本政府はどんな感染予防政策をとっていますか。

これに関して国際社会は懐疑的ですが、興味深いことに日本は他国のように厳しいロックダウンが行われ

ていないにも関わらず、感染拡大をうまく管理していると思います。課題の 1 つは、感染しても無症候の人がいるために、誰が感染しているかを正確に把握するのは難しいということです。さらに留学生として、政府が COVID-19 の指定医療センターを持っているかどうかを知ることは困難でした。マスクを着用したり、手を洗ったり、手に消毒液を頻繁に使用するようにという情報発信がなされています。もしも自覚症状がある場合は病院に連絡するか、かかりつけの医師に相談することを推奨されています。しかし、日本にいる外国人の中には、症状が出ているにもかかわらず検査が受けられなかったと訴える人もいました。したがって、病院へ行っても検査を受けられないという課題がありました。次に「ラッシュアワー」の間、電車はとても混雑しており、感染拡大に関する懸念事項と言えるでしょう。これは、「社会的距離」や「物理的距離」を取るようにという感染防止方針にも反しています。ウイルスとの接触を減らすために、日本政府は「3 密を避ける」ことを推奨しています。3 密とは密閉された空間、密集している場所、および密接な接触を意味します。私の知る限りでは、日本国民は政府の指示によく従っていると感じています。

日本に住む留学生に対してどのようなアドバイスをしますか。

日本にいる留学生は、ウイルスに感染しやすい環境に自らを置かないよう気を付けてください。常にフェイスマスクを着用し、定期的に手を洗い、人との距離を置いてください。もしも発熱やの倦怠感などの兆候がある場合は、病院に電話するか、保険証を持って医療機関を受診するようにしてください。

最後に皆さんに伝えたいことはありますか。

くれぐれも健康に気をつけながら、日常を取り戻せるように取り組みましょう。



*ポーポキからのメッセージ:医療機関によっては、新型コロナウイルス感染症のような症状だと診てくれないので、できれば行く前に連絡した方がいいです!

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 148

今月のテーマは、大きくも小さくも動きましょう!



- 1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
- 2. では、立ちましょう。両手を上へ伸ばしながら、つま先立ちをしましょう。10 まで数えて、下ろしましょう。3回~5回繰り返しましょう。
- 3. 次は、手を広げて大きくストレッチ。今度は上半身をスイングしてダウン! 5回できた? 繰り返そうね!
- 4. 最後はまず、立って、足をクロスしましょう。今度はゆっくりロールダウンして、手を 床につけましょう。届かない?無理をせずに足でも OK!3 回繰り返したら、足を入れ替 えてみてください。
- 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ! お疲れ様でした。少しリラックスできましたか?毎日、深呼吸·笑·リラックス、そしてポ ガを最低3分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが?



次回のポー会: 9月14日 Zoom 会議 18:30~*

*リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

9.16 ~ ポーポキのマスクギャラリー@第 10 回平和博物館会議! https://sites.google.com/view/inmp-museums-for-peace/conferences/2020-conference

10.24 「ポーポキと一緒に平和と健康を考える」オンライン・ワークショップ。14:00~。ファシリテーターは、兵庫医療大学のさとにゃん!参加希望者はご連絡ください。

ポーポキの友だちからのおすすめの絵本

『りょうくんのすすむみち―学校に行けない君たちへ―』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019 年。

大槌町 『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会、ほか。 2019.7。

Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバーhttp://popoki.cruisejapan.com/archives.html

▶ アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する:

絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange http://www.interpeople.or.jp
- ▶ 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ!http://www.interpeople.or.jp
- > 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28 面)
- ▶ 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- ▶ 「原爆の熱線で焼き付いたー "人影"再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22 面)
- ▶ 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- ▶ 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、タ刊、1面)
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒につくり出す平和の根底に9条がある」NO:662012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- ▶ 「布に希望 60メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- ▶ 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1·17 3·11、22 面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing" (Popoki Friendship Story Project) Kansai Scene. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- > 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- > No.1「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- ▶ 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- ▶ [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- > 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46–63 (http://www.infactispax.org/journal/)
- ▶ 西出郁代「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- ▶ 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- ▶ 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- ▶ 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- ▶ 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- ▶ 「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- ▶ 「カティング・エッジ」第35号2009.6(北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2」(レベッカ・ジェニスン) p.3
- ▶ 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- ▶ 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- ▶ 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- > ラジオ番組の中のポーポキ!!!プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 http://www.kizzna.fm/ 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008.10 500 円。 詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008,p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- > 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008,
- > 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

バシールにゃん

私にとって、ポーポキは平和活動家です。健康、災害、安全、移住、難民など、平和的解決を必要とする多くの問題など、平和と人間開発に関連する問題に取り組んでいます。私はポーポキを12年以上も知っていて、彼の平和活動の旅に参加する機会がありました。

私は昨年、バングラデシュの南の国境地帯を訪れました。ここはロヒンギャという、最近最も迫害されている人たちが避難している難民キャンプで有名な場所です。ロヒンギャ難民は、大量虐殺、レイプ、ジェンダーに基づく暴力、虐殺、その他の非人道的な拷問から逃れるためにミャンマーから逃亡してきました。バングラデシュ政府は、ほぼ 100 万人のロヒンギャ難民を受け入れ、継続的な食糧供給、医薬品、およびその他の物資とともに、仮設住居の建設を支援しました。国際社会もロヒンギャ問題に対処するための支援を申し出ています。しかし、それは 21 世紀で最も未解決の難民危機の 1 つであり続けています。バングラデシュに移住したロヒンギャの人口は非常に多いため、住居が不足している可能性が高く、特に 5~10 人が 1 つの小屋に住む必要がある多くの仮設小屋が建設されています。衛生設備、水供給、電気の欠如は、ロヒンギャの日常生活を困難にします。感染症やパンデミックの時期には、人口過密により、社会的距離を保つことが難しくなります。



写真:バルカリーロヒンギャキャンプ、コックスバザール、バングラデシュ © バシール・ウッディン2019

世界が COVID-19 のパンデミックと戦っているとき、それはバングラデシュの社会経済的生活をも壊滅させました、そして今ではロヒンギャ収容所にまで影響が及んでいます。地域社会やキャンプの住民の間で緊張が高まっています。パンデミックに加え、モンスーンによる洪水もこの地域に影響を及ぼし、何千人ものロヒンギャや地元住民の生命を脅かしています。バングラデシュ政府は資源が限られ、ロヒンギャの重荷を長い間担ってきましたが、この厳しい状況に対処するためにも最善を尽くしてきました。国際社会、NGO、さまざまな援助組織が支援を求めていますが、国自体が COVID-19 による深刻な景気後退を経験する可能性が高いため、状況の改善には時間がかかります。

以上のことを踏まえ、ロヒンギャ問題にかかわる地域、国際の関係者が連帯と平和について考える時が来たと思います。これが私がポーポキから学んだことです。 COVID-19 のようなパンデミック、内戦、国境の緊張、難民危機、そしてさまざまな複雑な問題によって世界が打ち砕かれたとき、ポーポキは、誰もが平等である平和のレンズを通してそれらを見ることへの希望の光を私たちに与えます。大量虐殺、搾取、支配などはありません。これらはポーポキが人間の生命の価値について考えるために私たちに与える重要なメッセージだと思います。





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色?ポーポキのピース・ブック1』(エピック、2007年)、『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(エピック、2009年)、『ポーポキ、元気って、なに色?ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をき

っかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の 旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅 広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の 売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳(『ピース・ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている)、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさりたい方はぜひご参加ください。(ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。)

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いいたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック (TEL: 078-241-7561·FAX: 078-241-1918)へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace(at)gmail.com



http://popoki.cruisejapan.com

郵便振替口座番号 00920-4-280350 ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350 口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!